修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

物価狂乱ひしひしと

全修協の実態調査から

修学旅行　二年間に倍額の例も

（2）

全修協では各都道府県内の小中学校一校を抽出、修学旅行費の実態調査をおこなった。前回は北海道、山形、栃木、茨城、山梨各県内の中学校の実態を掲載したが、これをみると値上り幅は急激で、一昨年の倍額に近い学校もあるほど。これに対処して補助を予算化する自治体もふえてきているのが注目される。今後、全修協を中心に〝教科書〟と同じく修学旅行も国費とする運動がますます活発化するものとみられる。

【長野県】

長野市内のF中学校では四十八年度から関西方面へ行っている。二泊三日。費用は昨年度一万二千三千円だったが、本年は一万三千八百九十五円で値上り分は一千八百六十五円。宿泊料（二泊）は三千円から三千七百円、バスは一千八百五十円も上っているのがめだっている。

【石川県】

小松市内のG校。関東方面へ三泊四日。うち一泊は国民宿舎を利用している。費用は総額で一万七千七十円、昨年は一万三千七百八十五円だったから三千二百八十五円のアップ。バスは昨年より二千七円上って六千九百円、一昨年にくらべると倍近い値上りぶり。

【鳥取県】

八頭郡のH校。昨年までの一泊二日を本年は二泊三日に切りかえた。オールバスだが、金額的には昨年より三百三十円安くなったが一泊一千四百円の宿泊費は二泊となって三千九百円。宿泊費の値上り率がはなはだしい。総額では八千四百五十五円。

【静岡県】

清水市内のI校。昨年は一万一千六十円だったが、本年はじつに四千百四十円もあがって一万五千二百円。この学校は一泊二日の行程だから千二百円のバスの値上りは大きい影響を与えた。それに見学料などのアップも見逃がせない。

【愛知県】

名古屋市のJ校。新幹線を利用して東京、日光方面へ二泊三日のコース。国鉄料金は据置きだが、バスは昨年より五百円、宿泊費も四百円とそれぞれアップし、一万二千五百三十八円。昨年にくらべ九百八十円の値上げは妥当というところ。

【三重県】

津市のK校。二泊三日。昨年にくらべバス代が六百八十円、宿泊賃が六百十円値上りで、一万二千四百八十円。昨年は一万九百六十円だったから一千四百二十円の上昇。四十七度にくらべると三千四百円もあがっている。

【京都府】

京都市内のL校。方面は不明だが二泊三日の行程。同校もバスと宿泊費の値上りをまともに受け、昨年にくらべてバスは二千七百九十五円も大幅に値上げ、宿泊費は六百円上昇で、一万四千三百十一円。昨年より二千九十六円アップした。

【大阪府】

吹田市内のM校。昨年につづいて本年も信州方面へ二泊三日。昨年にくらべてバス代が七百七十五円、宿泊費が三百四十円アップし一万三千八十五円となった。昨年は一万一千八百五円だったから一千二百八十円の上昇。

【広島県】

広島市のN校。九州方面へ三泊四日の行程。本年は国鉄を除く交通機関の料金アップで五百三十円上昇、そのかわりバスはコースの変更で一千三百四十円安くなった。しかし宿泊料は一千五百七十五円高くなり総計で一万三千二百四十五円、昨年より九百五円の値上りとなった。（つづく）

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

時論

集団暴力事件を憂う

＝修学旅行シーズンを終えて ①＝

秋が深くなって本年の修学旅行シーズンは間もなく終りをつげる。春四月、希望にあふれた新学年とともに始まって、それから半年、修学旅行は全国幾百万の多感な中学、高校生たちの心に感動と歓喜、孤独と哀愁など生涯を通じて忘れることのないよき思い出を残して、これからのかれらの長い人生行路に消えることのない一つの灯となるだろう。

かれらはこの旅行によって、日常の学校生活では得がたいさまざまの貴重な経験や学習を重ねることができたはずである。美しい国土や伝統文化にふれては、その恵みや尊さをじかに感じとり、広い視野と豊かな心を育てることができたであろう。友人との親交や教師との心の触れ合いを深めることもできたであろう。その集団行動を通しては、自由と規律、全体と個、望ましい共同生活のパターンなども身につけることができたであろう。

このようにはかりしれない教育上の効果を実らせて、本年の修学旅行シーズンも終るのである。つねづね、よりよい修学旅行であってほしいものとひたすらにねがい、その諸条件の改善のためにいささか微力を尽している者として多少の感慨なきを得ないのである。

多くの困難を克服して、大きな成果をおさめられた学校当局者の細心の計画と、よき指導に対しては、心から敬意を表したい。さらにこの大きな行事を陰から支えられた交通、宿泊関係その他多くの人びとの理解と協力に対しては心から敬意をはらうものである。

しかしながら、これら多くの人びとの努力と協力があったにもかかわらず、修学旅行途上において、まことに無念な事故が発生していることを忘れてはならないと思うのである。

火災や交通事故、集団食中毒などについても、今後一度とくり返えすことのないように、万全の策を講ずべきことは言うをまたないこともちろんであるが、ことに筆者の心を傷ましめるのは集団暴力事件である。

修学旅行中の高校生と地元高校生のさいなことからけんかとなり、野球バットをもって約三十人が乱闘、通行人までけがをさせ、警察の補導でおさまったかにみえたが、翌早朝には旅行中の高校生数十人が、地元高校を襲って、いわゆるお礼まいりの乱暴を働き気勢をあげて、再び警察の取締りを受けたという京都の事件、たまたま同じホテルに宿泊したほかの高校生がこれもさきいなことからにらみ合いとなり、果ては二階から二階に殴り込みをかけて乱闘、けが人を出し、これも警察の取締りを受けたという日光の事件など新聞にも報道されたのであるが、報道されなかったこの種の事件は、中学、高校を含めて全国的にはかなりの件数になるものと思われるのである。かれらにとって美しい思い出となるべき修学旅行が、一転して消し去ることのできない心の傷としていつまでも残ることになってしまう事件だけに、いかにも残念で胸が痛むのである。

清純で不正を憎む精神の持主であるはずの中高校生が、何がゆえにこのようないわれなき暴力行為に走ってしまうのであろうか。（つづく）＝（財）全修協研究調査部長・岩崎武夫

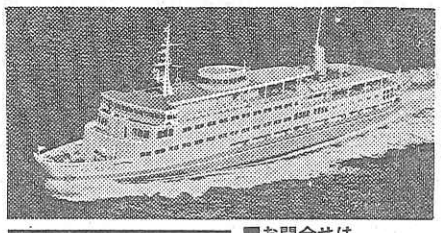
風紋

「サンサンと降り注ぐ陽光、どこまでも青い空。この色はどうだ。エメラルド、グリーン、マリーン、ブルー、コバルト、どの色を持ってきても、この透明な海の清澄さは表現しきれそうにない。これが汚染を知らぬもともとの海の色というものだろうか」（PHP十一月号離島諏訪之瀬島）▽人々は、特に大都市の汚れた「色」の中にくらしていると、こうした深い自然の中からこんこんと湧き出る「色調」に驚ろされ、それをあこがれて旅に出るのである▽鹿島海中公園などの海で、われわれはそういう自然の妙が描きだしたはかり知れない色の美しさにとけ込み、忘れていた何かを心の中に蘇らせる▽「旅に出て、ある朝、福岡のホテルで目ざめ、窓のカーテンをあけた。とたんまっ白な閃（せん）光が目の前にきらめいた感じで、わたしは、まぶしさに思わず顔をおおった。原因は、新幹線の開通をあてこんで新築されたばかりのビル、ビル、ビルの白い壁面のせいである。……ビルは、まわりの環境に調和し、人々の心や目を刺激しないよう、むしろやわらげるような色に塗るべきではないだろうか」（城山三郎氏、日経九・二五夕刊）▽こうした環境の中におれば、住む人の心はもとより通りすぎる旅人も、心を慰められるであろう。と、同氏はいっているが全く同感である。「色調」の深さ美しさを味わうのは、旅のよろこびというものであろうか▽北海道の雪に雪積む白一色の世界からぬけだして、空の旅で一気に、早春の南九州や沖縄のうすみどりに霞む土地へおりたつのは、その色合の変化がたのしみである。また、都塵をのがれて、真夏の日本アルプスの空の色と白雪のコントラストに目を洗い、五月の東北の山々のあさみどりに身を染め、雨にけぶる大和古寺のかもし出す色の深さに見入るなど「旅」はわれわれに「色感」の深さを味わせてくれるものである。

充実した修学旅行

ツーリストをお役立てください
ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として“修学旅行映画”シリーズを製作しております。
●修学旅行映画シリーズ
京都の庭園　富士箱根　日光　大和の国なか
大和の塔　火とみどりの国　瀬戸内海
みちのく　大和の道　大和の石　京都の川
（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）
電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」
近畿日本ツーリスト

KANSAI LINE
思い出の修学旅行
印象的な、瀬戸内海の船旅



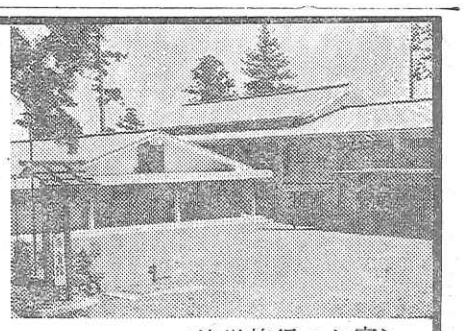
●阪神—別府航路（毎日4便）
●阪神—小豆島・高松航路（毎日4便）ほか
●神戸—日向（宮崎）フェリー（隔日1便）
関西汽船
■お問合せは
大阪市北区宗是町1（06）441—4100/東京都中央区八重洲1-9-9（03）281—2621
ほか関西汽船・関汽交通社各地営業所・各旅行あっ旋案内所へ

安心して泊れる旅館
修学旅行のメッカ本郷へ
経験で奉仕する
東京のお泊りは
文教の地〝本郷〟で
環境・交通は
修学旅行に最適です
近畿日本ツーリスト協定旅館連盟
東京支部本郷地区会員

武蔵野館	文京館	平安荘	真成館	朝陽館本家	富士館	本郷館本館別館
ふたき旅館	追分旅館	長栄旅館	春養館	朝明館	機山館	日本学生会館
						旅館かつら
						旅館大正園

（順不同）

霊峰比叡でお泊りを
■素晴らしい琵琶湖の夜景
■根本中堂で早朝の座禅
■スッキリした気分で次のコースへ
■夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕
☆本館☆第1別館☆第2別館☆別館比叡
別館 比叡 8月1日オープン



＜修学旅行のお宿＞
比叡山
延暦寺会館
ENRYAKUJI KAIKAN
0775—78—0047・0554

アンケートから

ことしの研修旅行 <1>

飛行機の利用は満点

〝講演も有意義だった〟

本年度の夏季教職員研修旅行参加者によるアンケートがまとまった。回収率は六〇％。三三一四通のうち既参加者は一三一二名、初めての参加者は二一三三名であった。申し込みの動機としては「学校に掲示のチラシを見て」が最高で二一一三名、つづいて「既参加者に誘われて」が五〇三名、「ダイレクトによるチラシを見て」が三八六名となっている。

以下、コース別・項目別にアンケートからひろってみると―。

北海道Aコース

【宿泊】部屋割りではほとんど「妥当」といい、寝具・食事も良好だったとしている。【乗りもの】「バスの座席は指定交替制にして」がいちばん多く、ガイドは「よかった」「悪かった」が半ばしている。【見学地】「時間のとりかたが適切だった」が最高、「も少し余裕がほしい」「自由時間が多すぎる」などもあった。

【研修行事】半数以上が「良好」「講演は見学より先きにあるとよかった」「長すぎた」「見学地での指導説明がもっと欲しかった」などがおもなもの。

北海道Bコース

【宿泊】Aコースとほとんど同じ。【乗りもの】「札幌―釧路、札幌―旭川間の寝台列車が悪い」が二十三通もあった。「船中泊は横になれるくらいの席がほしい」「グリーン席にして」「連絡船の午前二時出航はつらい」などがおもなもの。飛行機利用は圧倒的に好評だった。【見学地】Aコースと同じ答えが多く、それ以外では「洞爺湖の半日はもったいない」「札幌、美幌峠、摩周湖、層雲峡昭和新山、硫黄山、アイヌ部落、五稜郭ではもっと時間がほしい」など。【研修行事】ほとんどが「良好」と答え、「講演はたいへん参考になった」も多かった。その他の項目では「会費はもっと高くてもよいからデラックスにして」の希望もあった。

知床・納沙布コース

【宿泊】部屋割り、寝具、食事とも「妥当だった」が圧倒的。【乗りもの】では、だいたい「良好」だが、なかには「船の二泊は疲れる」があった。【見学地】「原生花園は時期的に不要」「自由時間がもっとほしい」「原生林を見たかった」なども。【研修行事】とくに「羅臼公民館の講演は有意義だった」「学校施設の見学も入れて」などもあった。

利尻・礼文島コース

【宿泊】「乗りもの」は前コースとほとんど同じ。「中部地区は小牧空港から出発したい」があった。【見学地】「適切だった」が多く、なかには「もっと見学時間がほしかった」としているのもあった。【研修行事】ほとんどが「良好」とこたえ、とくに「三浦尚雄先生（礼文島の仙法志中学校長のこと）の講演は参考になった」や「その土地の人と話しあう機会が欲しかった」などがあった。

（つづく）

研修旅行の作品

にえたぎる火口へ

美しく雄大な山なみ

山田永子

水前寺公園には幽斉が智仁親王に古今集の奥儀を伝授したときの茶屋が移されている。整然として美しい公園である。見学を終えてバスに乗る。十七時四十分、阿蘇山が見えだした。中岳が噴火している。明日は、待望の頂上に行ける。期待を残して、旅館に落ちつく。食事のみそ汁がおいしく、温泉もよかった。女主人と女中さんの歌やおどり、とくに信長、おてもやんは最高だった。しかし、夜はゴキブリの退治でよく眠れなかった。山の静かな宿で本当によかったのに…。

思い出を残して八月二日、広々した道を阿蘇に向う。熊本大学の岩本先生が草千里で講義をしてくださった。外輪高原が芝生をしいたように美しい。草原で牛が幾頭もなかよく休んでいる。右側の中岳はしきりに噴火している。雄大でどこまでも走っていきたくなった。火口付近まで登ってみた。火山岩がごろごろしている。火口は柵もないのでのぞけ、硫黄がにえたぎって噴火をつづけている。岩はだが無気味だった。

やまなみハイ・ウエイを別府に向う。すばらしい。名まえのとおり、本当に九州は山が美しい。

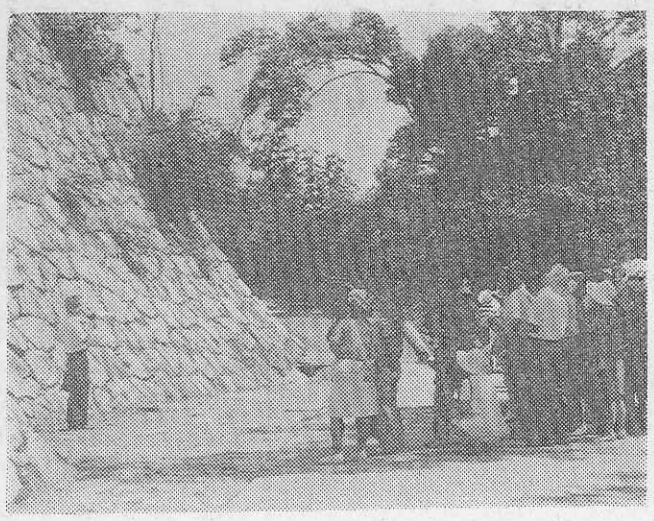
地獄めぐりをする。あいにくの夕立ちで、ゆっくり見られなかったが、海地獄と血の池、どうしてこんな色になるのかわからない。つぎは高崎山。こちらは雨が降っていない。ここには約千二百ぴきのサルがいるという。自由に遊んでいる。野生なので、よくけんかをしている。

日ぐれかかった道をバスは別府の宿へ向う。町からだいぶはなれている。夜景が美しいとのこと。名産のべっこうのペンダントを買う。

三日、八時出発。臼杵までは遠く時間がかかった。山道にそって仏像が並んでいた。南国的で日差しが強く暑いのに、掃除のおばさんがきれいに山道を掃いていて気持がよかった。大日如来の気品高い表情が、印象的ですばらしかった。西都原では古墳全部を見ることができなく残念だったが、芝生のなかに復元古代住居が一つだけあったのをみて、いかに九州が広いかがわかった。資料館には貴重なものが保存されていてよい参考になった。

＝つづく＝

（本年度研修旅行・九州一周コース参加者・埼玉県志木市立宗岡二小）



やまなみハイ・ウエイを別府に

魅せられた層雲峡

開拓者の苦労も知って ②

中西道子

○……○

札幌から釧路にむかう汽車の中で景色をみて思った。北海道の人々の生活はどんなだろうか。

どの家もどの家も小さいなあ。それに対応して広い田畑と牧場。きっと精一ぱい働いて生活している人々なのだろう。貧しいのだろうか？またどの家にも瓦の屋根がない。雪おろしに瓦はむかないのだろう。どの家にも暖房の設備はあるな。きっと厳寒の冬を越すのに煙突がいるのだろう。小さい家から必ず出ている煙突さん。広い土地は雑草が多く、時どき乳牛が三、四頭ずつむらがって、のどかに草を食べていた。

北海道に住む人びと、とくに開たく民の人びとの苦労を私たち旅行者も考えるべきであろう。

○……○

五日目、いろいろな所に行ったが、砂湯は印象深い所である。砂を掘るとそこからお湯がわいてくる。だんだんあたたかい湯がわいてくる。水浴をしたい所だけどなあ。団体旅行者の私たちには無理というものだ。

○……○

つぎに網走が印象に残った。厳寒の地、網走。刑務所のある北のはてということばを聞くけれどもいってみたら普通の町とかわらない。

ここでも夏の旅行だからかなあ。やはり北海道は冬こなくては北海道の味がないと思う。

住民をこまらせる流氷もなく、能取岬からみる北の海は、茶色の海藻が静かに海の底で動いていた。

バスの中で網走刑務所の囚人の話をバス・ガイドさんがしてくれる。悲しいせつない話だった。

＝つづく＝

（本年度研修旅行・北海道コース参加者・伊勢市二俣四―二―三〇）

写真は本年度夏季研修旅行四国一周コースの松山城で薄墨講師の解説をきく（広報部うつす）

北海道の旅

藤原美代子

☆

みはるかす原生花園は季（とき）おそく花のなければ馬寄りてきぬ（網走にて）

☆

山と野はひとつになりて緑なす飽かぬ眺めに言葉もあらず（美幌峠）

☆

アイヌ服、色とりどりに競ひ着てカメラにむかふ少女のごとく（川湯にて）

☆

はろばろと来つるものかな摩周湖に幻想の霧待てども晴れず

☆

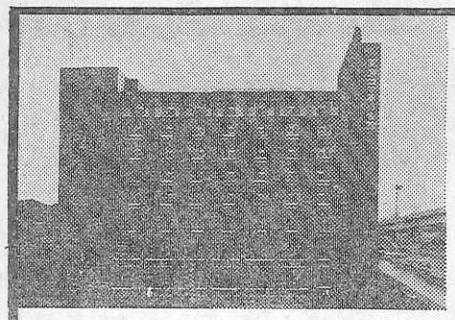
ささやけるマリモの神秘水底に聞こゆる如く想ひはせをり（阿寒湖）

☆

名も知らずそっと触るれば小さきトゲ、うすくれなゐのハマナスの花

☆

青き赤きサイロ点々と建ちをりて眺野に草はむ牛馬のむれ（本年度研修旅行・北海道一周コース参加者・大阪市生野区田島五―五―八）

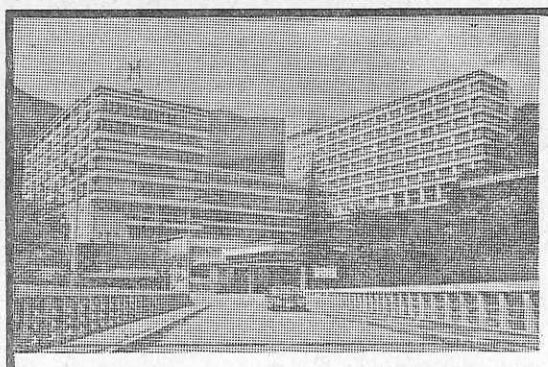


東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)

東京 コマ旅行会館



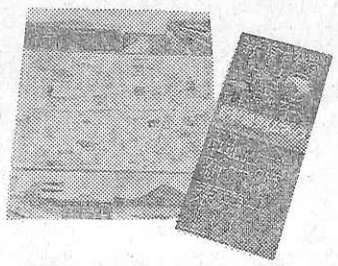
旅先きでの
楽しいお食事を
水いらずの
お部屋でどうぞ

ホテル 白雲山荘

案内所
■東京　TEL (03) 582－1778
■大阪　TEL (06) 351－6887
■福岡　TEL (092)761－0927

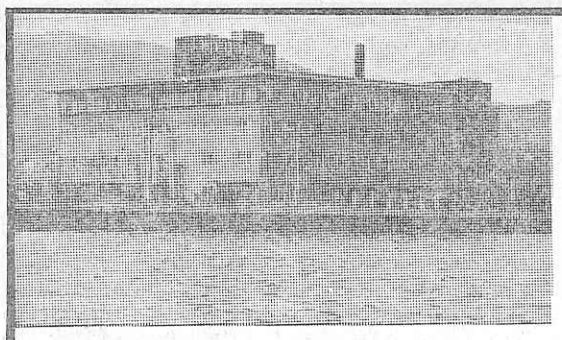
別府市観海寺
TEL (0977)23－1151

修学旅行の車中が楽しい移動教室になります。
新幹線タイムマップ
東京←→新大阪←→岡山



車窓から見る沿線の楽しいガイドブック
走る車窓から実写写真(230枚)に楽しいイラスト 340点を加え，沿線の今と昔をこまかく紹介してあります．
あなたが今どこを走っているかすぐわかります
見開いた2ページが，新幹線が5分間で走る距離（14km）にしてあります．5分ごとにページをめくれば，あなたの乗っている列車が今どこを走っているかすぐわかります．
修学旅行用に特別価格でご利用いただいております
お問合せは，ハガキで下記へ，内容見本資料を送ります．

発売　カラー版 650円
(株)アグネ　東京都渋谷区渋谷3-3-10秀和青山レヂデンス409　電話(03)406－3651(代表)



いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台

政府登録
国際観光旅館　びわ湖リゾート・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321